

2023-24 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1540回(7)

会長 瀬尾 義裕 幹事 黒木 成光

クラブ会長テーマ



「次世代に希望を繋ごう！～手を取り合って～」

日時	2023年8月22日(火) 12:30～
場所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点鐘・ソング「おお マイフレンド」 ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照) 「ロータリアンの行動規範」唱和 会長報告 幹事報告 出席報告 S A A 報告 スマイル報告 プログラム情報 その他報告
その他情報	メイクアップ情報(来週分) メイクアップ情報(再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

先日となる令和5年8月5日、「第36回広島県東部地区中学校吹奏楽祭り」がリーデンローズ大ホールにおいて、滞りなく開催されました。会員の皆様にはお忙しい中、例会変更事業ということで、土曜日の夕刻という変則的な時間帯での多数のご参加をありがとうございました。さて、当クラブではクラブ創立8年目となる1997年度より、通算27年間に亘って吹奏楽祭りを支援して参りました。この間、若い世代が人生に対して広い視野を持ち、活力と想像力あふれる若者として成長されることを祈念して、支援を継続してきたものと理解しています。吹奏楽連盟の当年度会長を務められる三宅様におかれても、「心を育て『生きる力』につながる大会」を目指していこうと述べられていますが、参加された生徒の皆さんには、大きな学びのある大会になったものと確信します。現場参加された皆様も感じられたとおり、次世代に対する非常に有意義な支援事業となっていますので、単年度制ではありますが、次年度以降の支援継続にも前向きに取り組んで参りたいと思います。本日の例会プログラムを楽しみにしております。

さて、ロータリー関係の情報ですが、本年8月7日付で国際ロータリーの指名委員会が会長候補者を指名し、25-26年度（次々年度）会長にブラジル共和国のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が推挙されました。マイロータリーには同氏のインタビューが英語で公表されています。同氏は「役職に任命する際のシステムをより透明性のあるものとし、明確な資格要件を設け、データに基づいて結果を評価するべきです」と表明しています。

国際ロータリーの指名委員会とは、世界34の各ゾーンから毎年17名の委員が選出されて構成されています。委員は元理事の資格が必要です。細則によれば毎年8月15日までに委員会を開催することになり、10名以上の特別多数で議決することになります。今回のカマルゴ氏はこの手続で指名を受けたものです。これに対して、その後の9月15日までの期間、各地区内の過半数同意を得てクラブ会員を推挙することにより、指名委員会が指名した候補者の対抗候補者とできることになっています。そして、登場した対抗候補者はその年の11月15日までに1%以上の支持を受けることにより、投票委員会が介入した決選投票に持ち込めるようです。いずれにしても最終指名を獲得した者は国際大会においてエレクトに選出されることとなります。強い意欲のある方は是非会長又は幹事にご相談下さい。

【プログラム情報】

《 ゲスト卓話・吹奏楽祭り優秀校演奏 》

今年度の吹奏楽祭りで福山西ロータリークラブ会長賞を受賞された神辺西中学校吹奏楽部の顧問をされている武藤先生によるお話と生徒さん4人による演奏が披露されました。

武藤先生は福山西 RC がこれまで行なってきた支援に対する感謝の気持ちと神辺西中学校吹奏楽部が少数精鋭で頑張ってきたことを話されました。自己紹介ですっと続けておられるオペラを唄われたことも含めて素晴らしい卓話でした。

4人の生徒さんはトランペット、クラリネット、バスクラリネット、ドラムという構成でしたが一人ひとりが自分とこの楽器の紹介をした後この日の為に用意された「学園天国」を演奏しました。クラブメンバーの手拍子が響く中大変盛り上がった例会となりました。

皆さん、本当にありがとうございました。

もしかしたら来年3月IMの懇親パーティーでまたお会いできるかもしれません。

福山西 RC 青少年奉仕委員長
能登 伸一



初めまして、神辺西中学校吹奏楽部顧問の武藤です。本日はどうぞよろしくお願いいたします。東部地区吹奏楽祭りの際は、たくさんのご支援をいただきありがとうございました。今後ともよろしく願います。本日は、中学校における吹奏楽部の活動についてお話しさせていただきます。

私たちの中学校の吹奏楽部は、3年生7人、2年生7人、1年生8人の22人で活動しています。現在少子化の影響により、多くの学校で吹奏楽部に入部する生徒が減少しています。部員数の減少という事象を受け、吹奏楽連盟各支部は主催するコンクールにおいて中学校部門、高等学校部門にそれぞれ小編成の部を新たに設けました。私たち神辺西中学校吹奏楽部は、少人数でも感動させる音楽づくりに努めています。

神辺では小学生の時点で金管バンドや吹奏楽団体に所属していた生徒も多く、子供の頃から「吹奏楽」が身近にある地域ですが、本校吹奏楽部に入部する生徒の多くは中学校に入ってから初めて楽器に触れます。今年の1年生のほとんどは、楽器に初めて触れて3カ月でコンクールに出場しました。小編成は、1パートに1人であることが多いため、自分の音が全体の音楽に大きく影響します。ひとりひとりの責任は重大です。これは1年生も例外ではありません。しかし、その責任の重さを感じつつも周りの音と自分の音が交わる瞬間を全身で感じることは小編成の良さの一つです。ひとりでも欠けると音楽が崩れてしまうのも小編成の特徴です。「全員が全力で演奏する」ことで成り立つ小編成は、それぞれの個性を認め合いながら、誰も欠けることなく音楽をつくるのが最大の魅力です。

また、学校における“働き方改革”が進む中、十分な練習時間を確保することは難しい状況になっています。楽器はもともと、「1日休めば取り戻すのに3日かかる」と言われるほど、思うような演奏することが難しいものです。限られた時間の1秒1秒を大切にしながら仲間と一緒に音楽に向き合っています。特にここにいる3年生は、自分の音だけでなく全体の音を聴いて課題を見つけ、それを改善するた

めに自分たちで練習をしています。

さて、8月5日に行われた広島県東部地区中学校吹奏楽祭りは、演奏機会が限られている中学校吹奏楽部にとって、とてもありがたい演奏の場です。まず、福山市でもっとも大きく音響設備のよい立派な大ホールで演奏することができます。そして、同じ地域で同年代の中学生の演奏を聴くことは、生徒にとっても教員にとっても、勉強になる機会です。そしてなにより、身近な人に聴いてもらえることは、何よりも嬉しいことです。福山駅周辺であるリーデンローズであることにより、多くの人に聴きに來てもらうことができます。私たちにとっては、賞を目指すことはもちろんですが、「より良い演奏を届けたい」という思いが強くなる、力が入る演奏の場となっています。このような機会をいただけるのは、福山西ロータリークラブさんのおかげです。本当にありがとうございます。

私たち神辺西中学校吹奏楽部は「聞き手に伝わる音楽」を目指して、日々練習に励んでいます。吹奏楽部は、大きな舞台としてコンクールがありますが、それ以外にも様々な演奏の場をいただきます。学校行事では、11月に文化祭があります。聴いている人が楽しい・感動すると感じるようなプログラムを生徒たち自身で考えています。

さて、本日は神辺西中学校吹奏楽部から4人の生徒がこの会に参加させていただきました。これから4人の楽器紹介と、アンサンブルを演奏させていただきます。右から、トランペット、クラリネット、バスクラリネット、パーカッションを担当している生徒です。それぞれの楽器を紹介します。

本日は、中学校における吹奏楽部の活動についてお話させていただきました。東部地区の中学校吹奏楽部全員で、より良い音楽を目指して精一杯頑張っていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。





【その他報告】

《入会式》



【新入会員紹介】

氏名	目黒 由成 さん
生年月日	昭和 49 年 9 月 7 日
職業分類	道路貨物運送業
推薦者	小林 崇 さん
アドバイザー	平田 恭彬 さん
所属委員会	親睦委員会 職業奉仕委員会 社会奉仕委員会

